

### 第34回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

○開催日時 令和5年3月22日（水）1330～1430

○場 所 京丹後市役所峰山庁舎2階会議室

○出席者 【京丹後市】副市長

【京都府】総務部副部長

丹後広域振興局地域連携・振興部長（丹後広域振興局長代理）

【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）

【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）

【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長

京丹後市交通安全指導員会会長

京丹後市女性連絡協議会理事

京丹後市宇川連合区、袖志区、尾和区、中浜区、島津連合区各区長

【米軍経ヶ岬通信所】米陸軍第14ミサイル防衛中隊長兼経ヶ岬通信所司令

【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長

【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○米軍経ヶ岬通信所司令官の挨拶

- ・ 私たちは、日本の交通法規を真摯に受け止めており、引き続き、近畿中部防衛局主催の交通安全講習会に参加する。通信所の兵士及び請負会社職員は、毎週安全指導を受けており、各責任者が交通安全の重要性について指導している。
- ・ 発電機については、引き続き、可能な限りメンテナンスや必要不可欠な場合に限定した稼働に努める。なお、緊急時の稼働は避けられないことを御理解願いたい。
- ・ 地域交流については、新型コロナ対策緩和に伴い、ボランティア活動への参加の機会を拡大しており、英会話、海岸清掃や文化交流など引き続き積極的に参加する予定。先月は、日米音楽交流会が開催され、4月にイースターイベントの開催を予定しており、引き続き地域並びに自治体と協力し、イベントを随時企画・支援していきたい。
- ・ 通信所で勤務する軍人、請負会社職員、日本人職員、地域コミュニティの方々を新型コロナウイルスから護るため、政策及び在日米軍の方針に沿って関係各所と引き続き協力してまいりたい。
- ・ 京丹後の皆様にとっての良き隣人となれるよう今後も努めてまいりたい。

○防衛局の説明・構成員の意見等の概要

（1）交通事故、交通安全講習会

【説明要旨】

- ・ 米軍関係者による交通事故は、前回連絡会で報告した件数を除き、令和4年11月か

ら令和5年2月までの間、物損事故が4件。

- 野生動物の目撃情報は、令和4年12月から令和5年3月までの間、クマ、サル、シカ  
の目撃情報があった。この目撃情報については、速やかに地元と米軍に情報共有している。
- 交通安全講習会は、京丹後警察署や網野自動車教習所の協力のもと、本格的な降雪期  
の前に、冬期の運転において注意を要する事項に重点を置いた座学講義、人工降雪機を使用  
して再現した積雪路の走行体験や車両感覚を養うための訓練を内容とした実車講習を令  
和4年12月に実施。今後も交通安全に資する講習会を企画してまいりたい。

(近畿中部防衛局)

#### 【意見要旨】

- 「交通安全推進対策チーム」の設置及びチラシの地元配布など、従前に加えて前進した  
運用、取組が行われていることに御礼申し上げる。
- 交通事故の未然防止として、更なる交通安全対策の徹底をお願いしたい。また、交通事  
故が発生した場合、事故発生時の情報提供に関する「考え方」の適切な運用がなされるよ  
う改めて徹底をお願いしたい。
- 交通安全対策推進チームは、どのような所掌事務なのか、具体的な活動や取組について  
教えていただきたい。

(京丹後市)

- 米軍が自らの事故を自身で認識し、再発防止策を講じていくこと、また、地域としての  
必要な情報を確認しながら、交通安全の取組を進めていくことが重要であると考えており、  
そのためにも、地域としての交通安全の確保に必要な情報が適切に提供されることが必要  
であると考えている。
- 再発防止に向けた取組が示され、京都府としては、チェックリストやマニュアルの整備  
など具体的な対応を求めてきたところであるが、「考え方」に基づき、必要な情報が関係  
者に対し適切に提供されるよう、具体的にどのような取組が行われ、あるいはこれから行  
われるのか確認させていただきたい。
- 効果的な未然防止策の実施、継続的な交通安全教育の徹底などにより、米軍関係者の交  
通安全に対する意識の向上、交通安全対策の徹底をお願いしたい。

(京都府)

- 交通安全マップの作成など、丁寧な取組に感謝する。交通安全対策推進チームの具体的  
な運用状況を教えていただきたい。また、道路工事情報など交通安全マップのアップデー  
トも含め、日常的な情報共有が重要であり、自治体、警察を含めた関係機関との連携のた  
めのガイドラインを作成し、事故が起きた場合、速やかに対応してほしい。

(地域住民代表)

#### 【回答要旨】

- 交通安全対策推進チームは、近畿中部防衛局企画部長をチーム長とし、当局の企画部と  
管理部、京丹後現地連絡所等、交通安全対策に関わる業務及び事故発生後の対応を所掌す  
る防衛局の各部署を横断した構成となっており、令和5年1月24日に防衛局内に設置。
- このチームは、各部、各課室の垣根を越えて、関係機関との連絡調整、米軍関係者に対

する交通安全講習会の開催、交通事故の被害者への対応や第25回安全安心連絡会で整理した「考え方」を適切に運用する役割を担当。

- ・ 交通事故の情報提供があった際の要領の共有や聴取する情報に漏れないかチェックを行うこととしているほか、今後、交通事故が発生した際、速やかに情報収集が行えるよう当該チームの連絡先を示したチラシの作成・配布等を行った。
- ・ 米軍には、交通安全マップの更新版を共有し、地元からの動物目撃情報や道路の状況等に係る情報についても伝達し、交通事故の未然防止に努めている。
- ・ チームとして、関係機関と連携し、「考え方」に基づき、必要な場合は速やかに情報提供が行えるよう取り組んでまいりたい。

(近畿中部防衛局)

## (2) 水質調査及び藻場分布状況の確認

### 【説明要旨】

- ・ 前回調査は、米軍人の隊舎入居完了後の令和4年3月に実施。その際の水質調査の結果については、第31回連絡会において、環境基準内である旨を報告した。
- ・ 今回の調査は、水質及び藻場の分布状況について、米軍人の隊舎入居後においても変化が生じていないかどうかを確認するため、令和5年3月に水質調査及び藻場分布状況の確認を実施。調査結果については、現在、分析中であるため、準備が整い次第、報告を行う。

(近畿中部防衛局)

### 【意見要旨】

- ・ 近中局による水質調査や藻場分布調査について、結果がわかり次第、報告していただきたい。

(京丹後市)

### 【回答要旨】

- ・ これまでの水質結果については、特段問題はないものと承知しているところではあるが、今回の調査結果についても準備が整い次第、報告させていただく。

(近畿中部防衛局)

## (3) 日米交流事業等

### 【説明要旨】

- ・ 在日米陸軍軍楽隊コンサートが、令和5年2月18日に久美浜公会堂において開催され、地域住民の方々約80名が参加され、和やかな雰囲気で行われた。演奏終了後は、地域住民の方々が軍楽隊員と記念撮影を行うなど交流を深めた。
- ・ 日米交流音楽会が令和5年2月19日に京都府丹後文化会館において、京丹後市及び京丹後市国際交流協会の後援や、丹後吹奏楽団、米陸軍経ヶ岬通信所及び在日米陸軍軍楽隊の協力のもと、4年ぶりに開催。当日は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、入場者数を定員の半分である400名として実施したところであるが、多くの地域住民の方々にお越しいただき、立ち見が出るほど盛況であった。

- ・ 京丹後市在住外国人のための日本文化体験会が、令和5年2月25日に京丹後市交際交流協会の主催により開催され、経ヶ岬通信所からも参加。参加者からは、「茶道や折り紙体験に積極的に取り組み、日本文化に触れることができた。」などの感想があった。
- ・ 今後の日米交流事業については、新型コロナ対策としてのマスク着用が、令和5年3月13日から個人の判断に委ねられることになったが、今後とも、感染症の状況を注視しつつ、良き隣人として、地元の方々と米軍との交流を企画していきたい。

**【意見要旨】**

- ・ 各種ボランティア活動や日米交流への米側の積極的な取組に感謝申し上げる。引き続き、良き隣人として、交流を深め、信頼関係の構築に取り組んでいただきたい。

(京都府)

**【回答要旨】**

- ・ 地域交流は、米軍においても良き隣人として地域に溶け込もうと努めているものであり、局としても引き続き、地域の皆様の協力を賜りつつ、日米交流事業などに取組んでまいります。

(近畿中部防衛局)

(4) その他

**【意見要旨】**

- ・ 令和5年3月13日から新型コロナに係るマスク着用の見直しが行われ、着用は個人の判断に委ねることが基本となる一方、マスク着用を推奨する場合の対応が求められているところ、米軍関係者のマスク着用は、どのような運用になっているのか。

(京丹後市)

- ・ 感染症法上の位置付けの変更が予定されているが、新型コロナの今後の対応について、確認させていただきたい。
- ・ 経ヶ岬通信所から保健所に対して速やかに情報提供が行われるなど連携が図られているが、経ヶ岬通信所には医療機関がなく、米軍関係者の医療機関の受診等に当たっては保健所による事前調整なども必要であることから、引き続き保健所との連携をお願いしたい。

(京都府)

**【回答要旨】**

- ・ マスク着用については、米軍においても、基本的には個人の判断に委ねられるものと承知しているが、人が密集している場所においては、マスク着用を行うなどの配慮を実施しており、引き続き国内の状況を踏まえ感染防止に取り組んでいる。また米側で感染者が発生した場合には、保健所とも引き続き連携し、対応していきたいと考えているので、よろしく願います。

(近畿中部防衛局)

**【意見要旨】**

- ・ 三角地は、地元の貴重な財産を提供していただき、整備が計画されているものであり、

速やかな整備に向けて、引き続き米軍に働きかけをお願いしたい。

(京丹後市)

**【回答要旨】**

- ・ 三角地については、設計のほか米軍内部での諸手続き中であると承知しており、具体的な時期等について説明できる状況にはないが、三角地は地域の交通安全に資することからも、早期に整備が行われるよう引き続き米軍に働きかけていきたい。

(近畿中部防衛局)

**【意見要旨】**

- ・ 重要土地等調査法について、新たな動きがあれば速やかに市へ情報提供をお願いしたい。なお、2月に行われた内閣府主催のオンライン説明会において、市として住民に懸念や不安が生じるような過度な運用とならないよう配慮をお願いし、このことを方針の中に明記してほしいと申し上げた。これに対し、内閣府の参事官からは「前向きに検討する。」との御回答をいただいたところ。防衛局においても今後のご協力をお願いしたい。

(京丹後市)

**【回答要旨】**

- ・ 重要土地等調査法については、令和4年9月20日に全面施行され、同年12月27日に初回の区域指定に係る告示がなされた。初回の指定においては、無人の国境離島を中心に全国で58か所が指定されたが、経ヶ岬通信所については、指定に含まれていない。
- ・ 2回目以降の区域指定の日程等は決まっていないと承知しているが、今後の状況についても、引き続き情報収集に努めてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

以上